

学年 第1学年

時間 2時間

題材 パウル・クレーの作品

(p-154-5「内なる光に照らされた聖人」p-154-6「ホフマンの舞台」w-127「ある音楽家のための楽譜」ほか)

題材について

クレーは日本で最も愛好される画家の一人といわれている。豊かな色彩と詩情あふれる作風で、中学生にも親しみやすい作品ではないかと思う。クレーの一生は戦争や病気など、決して安らかなものではなかったが残された作品の多くは、見るものに安らぎを与えてくれるものが多い。「見えないものを見えるようにするのが美術」と言うクレーの言葉通り、その作品は夢の世界へ私たちを連れて行ってくれるかのようでもある。

詩人の谷川俊太郎はそのクレーの作品(主としてその題名)に触発されて詩を作っており「クレーの絵本」「クレーの天使」という2冊の詩画集が出版されている。

授業では、この詩画集を参考にクレーの作品から短い言葉や詩を作って、絵と一緒にカードを作る。一つの作品についてじっくり鑑賞したり、作品のよさを分析したりするようなものではないが、たくさんの作品を見て、そこから一つの作品を選び自分なりに感じたところから言葉を連想していく作業を通して絵に親しんでいくきっかけになればと思う。また生徒同士がお互いのカードを鑑賞し合うことで、人によっていろいろな見方があり、自分なりの見方で絵を楽しむことができることが分かればと思う。第1学年の早い時期に実施するとよいと思うが、コンピュータを利用するので、技術科との連携を図りながら年間計画に入れていけばよい。

指導要領との関連

[第1学年]2内容 A表現(1)エ、(2)ウ B鑑賞 ア、イ

目標

- ・クレーの作品を鑑賞し、色彩の美しさや自由な発想による表現のよさを味わう。
- ・自分なりに作品から感じたことを言葉や詩に表し絵と組み合わせて、カードを作る。
- ・できあがったカードをお互いに鑑賞し作品の捉え方の多様性に気づき、自分なりに楽しく鑑賞できるようになる。

学習展開

学習活動(予想される生徒の反応)	学習内容	指導上の留意点
(1時間目) 参考作品を見る コンピュータの画像ファイルの中から好きな作品を一点選ぶ。 文字を入力し、全体の構成を考えてカードをつくる。 プリンターで印刷する。 作品を選んだ理由と制作で工夫した点を書く。	参考図版を見せ、「クレーの絵本」から詩を朗読する。 絵の説明ではなく、絵から感じたイメージで言葉を考えていく。	絵をたくさん見て、その中から気に入ったものを見つけることができたか。 選んだ作品を鑑賞し、自分なりに感じたことを言葉にできたか。 絵と言葉をバランスよく配置し、カードを作ることができたか。 理由、工夫した点が簡潔にまとめられているか。
(2時間目) できあがったカードを鑑賞する。	カード作品を並べて掲示しておく。 発表に対しての評価をする。	友達の作品を鑑賞し、それぞれのよさを感じ取ることができたか。

<p>数点選んで作者は作品を選んだ理由と制作意図、工夫した点を発表する。クレーについて知る。感想を書く。</p> <p>自分の作品をワークシートに貼り、ファイルする。</p>	<p>クレーについて簡潔に説明をする。著作権について簡単に触れる。</p>	<p>たか。</p> <p>感想を簡潔にまとめて書くことができたか。</p>
---	---------------------------------------	--

準備物

- ・「クレーの絵本」「クレーの天使」谷川俊太郎著 講談社刊
- ・コンピュータ（クレーの作品をファイルに入れておく）、プリンター、用紙（L判写真用紙）
- ・ワークシート

著作権について

『著作物等の「例外的な無断利用」ができる場合』

「教育機関」でのコピー

学校・公民館などで教員等や授業を受ける者（学習者）が教材作成などを行うためにコピーする場合の例外です。インターネットを通じて得た著作物をダウンロードしたり、プリントアウト・コピーして教員等が教材作成を行ったり、学習者が教材としてコピーしたものを他の学習者に配布して使うような場合にも、この例外は適用されます。

【条件】

- ア 教育機関であること
- イ 営利を目的とする教育機関でないこと
- ウ 授業等を担当する教員等やその授業を受ける学習者自身がコピーすること（指示に従って作業してくれる人に頼むことは可能）
- エ 授業の中でコピーする本人が使用すること
- オ 必要な限度内の部数であること
- カ 既に公表されている著作物であること
- キ その著作物の種類や用途などから判断して、著作権者の利益を不当に害しないこと（ソフトウェアやドリルなど、個々の学習者が購入することを想定して販売されているもの等は対象外）

*著作権の制限はあくまでも「例外」ですので、「いいことをしているのだから、無断で利用できて当然」などと思ってはなりません。

「著作権テキスト～始めて学ぶ人のために～」平成15年度 文化庁長官官房著作権課 より

参考文献・資料

- クレーの絵本 谷川俊太郎 講談社 1995年
- クレーの天使 谷川俊太郎 講談社 2000年
- 広島県立美術館コレクション選 広島県立美術館 1996年

鑑賞ワークシート

最後に自分の作品を貼り付けます。

クレーの作品の題名 ()

この絵を選んだ理由とカードを作るときに工夫したところ。

感想

平成 年 月 日 () 曜日

第1学年 組 番 氏名